

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
1	第2章呉市を取り巻く状況 2.3 1) アンケート調査の概要	例えば観光や産業など呉市外の主体との連携を図るべき施策分野では、住民意見が適切な施策立案の根拠として十分ではない可能性がある。また、将来的に外部の方の呉市定住を目指す施策については、居住環境などに求める利便性の具体的な優先順位について、内部／外部の居住者間で意見の相違があること考えられる。そういったことから、市外居住者アンケート調査の実施を提案しており、その意図について示したほうが良い。	市外居住者アンケート調査の実施目的を明確化するため、ご意見を踏まえた修正を行います。	P21 2.3 都市づくりに対するニーズ 1) アンケート調査の概要 調査は、市民及び呉市外居住者の呉市に対する意見や都市づくりに対する考えなどについて、今後の都市行政運営の参考資料とするために行いました。	P21 2.3 都市づくりに対するニーズ 1) アンケート調査の概要 <u>都市づくりは、市民の都市生活や都市活動のみならず、観光や移住施策といった呉市を訪れる人や呉市に携わる人など呉市外に居住する方への対応も含めて総合的に推進していく必要があります。そこで、都市計画マスタープランの改定に当たり、市民及び呉市外居住者の呉市に対する意見や都市づくりに対する考えなどについて、今後の都市行政運営の参考資料とするために次のとおり調査を実施しました。</u>
2	第3章全体構想	第3章について、どういう構成になっているかが分かりにくかったので、都市づくりの主要課題、都市の将来像、都市計画の目標などをフロー図などで示すことができれば分かりやすいのではないか。	第3章の全体像が把握できるよう冒頭にフロー図を設けます。	-	P28第3章 全体構想の冒頭部 (参考) 第3章 全体構想の構成 フロー図を記載
3	全般	資料3－1のP35について、例えば、解決すべき課題、都市の将来像、また、目指す姿と縦に並んでいる箇所について、丸四角囲みで記載されている都市の将来像を一番上に、解決すべき課題をその下側に配置してはどうか。	計画の構成の順番とあわせた配置としていますが、わかりやすくなるように表現方法を修正します。	P35,P38,P40,P43 2)都市の将来像及び都市計画の目標 解決すべき課題を四角囲みで記載し、課題の内容の末尾に括弧書きで都市づくりの主要課題○と記載	P35,P38,P40,P43 2)都市の将来像及び都市計画の目標 解決すべき課題（都市づくりの主要課題○）として修正 「目指す姿」は都市の将来像の具体的なイメージを示したものであるため、その内容を丸四角囲みの都市の将来像の枠内に含め、「目指す姿」という言葉を削除
4	第3章全体構想	「コンパクト＋ネットワーク」を基本にしながらということは理解できるが、新型コロナウイルス危機において、生活様式が大きく変わったと感じている。働き方改革によって、郊外居住地でのテレワークなどが進み、余暇の過ごし方も変化している。そういった中で、これまでの「コンパクト＋ネットワーク」の考えを全て継承することに少し違和感がある。	今後、呉市においては人口減少が進展することが想定されており、都市的サービスの持続的な確保に向け、コンパクト＋ネットワークの都市構造の構築に向けて継続して取り組むこととしています。 そのような中で、ポストコロナ時代においては、ご意見のとおり、暮らし方や働き方の変化が継続されるものと考えられ、それらに対応した「コンパクトシティ」の形成を図る必要があるため、ご意見を踏まえて修正を行います。	P34 3.2 1)基本理念 また、誰もが安全で安心して暮らすことができ、人口減少への対応や脱炭素社会の実現、また、SDGsの達成に向けた持続可能でコンパクトな都市の形成に向けて取り組むことを基本として、・・・	P34 3.2 1)基本理念 また、 <u>多様化した価値観とポストコロナ時代に応じた新しい暮らし方や働き方に対応するとともに、誰もが安全で安心して暮らすことができ、人口減少への対応や脱炭素社会の実現、また、SDGsの達成に向けた持続可能でコンパクトな都市の形成に向けて取り組むことを基本として、・・・</u>
5	3.2 1) 都市づくりの基本理念	単に人口減少への対応というネガティブな考えではなく、ポストコロナにおいてICTを生かした新しいライフスタイル、夫婦の時間や子育ての時間など、時間的ゆとりが生まれた新しいライフスタイルを提供するといったポジティブに捉えたこれからの「コンパクト＋ネットワーク」を位置付けられないかと考えている。			

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
6	第3章全体構想 3.2 2) 都市の将来像及び都市計画の目標	将来像においてSDGsを掲げているが、1から17までの番号にとらわれず、例えば将来像に具体的に関連する内容として優先性を持たせるなど、各将来像で差をつけることも考えられるのではないか。そのような優先順位の違いを示すことで、各目標の狙いをはっきりさせることができると考える。	都市の将来像1から4までの実現に向け、総合的に都市づくりを進め、SDG sの達成を目指したいと考えます。	-	-
7	第3章全体構想 3.2 2) 都市の将来像及び都市計画の目標	素案中の基本理念にある「誰もが」という言葉は、東京へ行くような人（マス）を呼び込むのか、それとも若者の多様な価値観や希望に応えるものか、きっと呉は、東京が飲み込めないような多様な価値観を持った若者の受け皿になると思う。例えば、京都府福知山市のように、一人一人の希望が実現できる多様な産業があることで、幸せな人口移動が起こっている都市もある。また、そういった時の居心地の良さは何なのかを考えると、呉市の情緒性であり、豊かな自然環境に近接した環境でゆったりと仕事をしつつ、時折広島市へ出勤するなど、ゆとりが感じられるようなことであると思う。そう考えると、居心地の良さという言葉は、国が進めるウォーカブルなまちなか形成ということだけではなく、もう少し呉市らしいところがあるのではないかと思う。	都市の将来像2（目標3）及び将来像3（目標4，5）が関係し、その内容に対してご意見を踏まえた修正を行います。	3.2 都市の将来像及び都市計画の目標 P38 都市の将来像2 【目指す姿】 ・・・若者を始めとして多くの人が働く場が生まれるとともに、地域経済が活性化しています。 P41 目標4 居心地の良いウォーカブルなまちなかの形成 ・・・多様な人々が集い、交流することのできる居心地の良いウォーカブルなまちづくりを推進します。 また、空間形成においては、人が中心となることを基本として、・・・ P42 目標5 利便性と自然の豊かさを備えた都市の実現 ・・・身近なところで自然を体感できる、豊かさを備えた都市づくりを推進します。 また、呉ならではの歴史的景観・インフラ景観の保全や・・・近隣都市と連携しながら推進し、交流人口や関係人口の増加を図ります。	3.2 都市の将来像及び都市計画の目標 P38 都市の将来像2 【目指す姿】 ・・・若者を始めとして多くの人の <u>希望を実現するいきいきと働く場</u> が生まれるとともに、地域経済が活性化しています。 P41 目標4 <u>居心地が良く歩きたくなる</u> ウォーカブルなまちなかの形成 ・・・多様な人々が集い、交流することのできる <u>居心地が良く歩きたくなる</u> ウォーカブルなまちづくりを推進します。 <u>ウォーカブルな空間形成においては、人が中心となること、また、豊かな自然や歴史・文化などの呉らしさを生かしながら取り組むことを基本として、</u> ・・・ P42 目標5 利便性と自然の豊かさを備えた都市の実現 ・・・身近なところで自然を体感できる、豊かさを備えた <u>心地よい都市環境の形成を図ります。</u> あわせて、呉ならではの歴史的景観・インフラ景観の保全や・・・近隣都市と連携しながら推進することで、 <u>移住・定住の促進、また、</u> 交流人口や関係人口の増加を図ります。

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
8	第3章全体構想 3.2 2) 都市の将来像及び都市計画の目標 3.4 1)土地利用の方針	目標3の「強靱な産業構造の構築」の「強靱」という言葉について、多様性のあるという言葉がよいのではないかと思う。言葉の使い方については,他の計画との関連性なども含め検討いただければと思う。	呉市では、重厚長大な産業とともに、観光まちづくりの基幹産業化に向け取り組むなど、多様性のある強靱な産業構造の構築に向けた取組を進めているところです。ご意見を踏まえた修正を行います。	3.1 都市づくりの主要課題 P32 課題2 強靱な産業構造の構築と都市活力の向上 3.2 都市の将来像及び都市計画の目標 P38 目標3 強靱な産業構造の構築や都市活力の向上のための都市機能強化 また、市街地開発事業やリノベーションまちづくりなどによる・・・，	3.1 都市づくりの主要課題 P32 課題2 <u>多様性のある</u> 強靱な産業構造の構築と都市活力の向上 3.2 都市の将来像及び都市計画の目標 P39 目標3 <u>多様性のある強靱な産業構造の構築のための</u> 都市機能強化 <u>あわせて、</u> 市街地開発事業やリノベーションまちづくりなどによる・・・，
9		経済の世界では、頑強・強い、しなやかである、多様であるということは様々なショックに耐えられることができ、経済の安定的な成長などに寄与すると考えられるもので、意図としては理解できる。しかし、市民に馴染む形と考えると、表現はやわらかくすることはあるのかもしれない。産業が多様化することで、持続可能な産業構造を生むという考えには賛成である。			
10	第3章全体構想 3.2 2) 都市の将来像及び都市計画の目標	資料3－1のP41の目標4にあるイメージ図のイラストのように、オープンカフェがあったり、公園ではいろんな人が様々なことをしているようなまちができると、私はとても魅力を感じるし、そういうまちに住み続けたいと思う。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
11	第3章全体構想 3.3 将来都市構造	地域拠点の位置付けなどは、生活機能に加え、働くための機能を含め位置付けた方がいいのではないかと思う。	ご意見を踏まえた修正を行います。	P46 3.3 将来都市構造 (1)拠点の設定 【都市拠点】 役割 ・商業、医療・福祉、子育て、情報、娯楽、行政などの中枢的な機能が集積し、・・・ ・人の出会いや交流、滞留を促進し、・・・ 求められる機能などのイメージ 【地域拠点】 役割 ・生活圏における人口などに応じて、一定の日常生活が満たされる商業、医療・福祉などの都市機能を集積する 拠点 求められる機能などのイメージ	P46 3.3 将来都市構造 (1)拠点の設定 【都市拠点】 役割 ・商業・ <u>業務</u> 、医療・福祉、子育て、情報、娯楽、行政などの中枢的な機能が集積し、・・・ ・住・職・商・遊・学などの多様な機能が混在することで、人の出会いや交流、滞留を促進し、・・・ 求められる機能などのイメージ ・広域サービスを提供する施設や人が集うことのできる施設、サテライトオフィスなどの職住近接を可能とする施設 【地域拠点】 役割 ・生活圏における人口などに応じて、一定の日常生活が満たされる商業・ <u>業務</u> 、医療・福祉などの都市機能を集積する拠点 求められる機能などのイメージ ・ <u>コワーキング施設などの職住近接を可能とする施設</u>
12	第3章全体構想 3.4 分野別の都市づくりの方針 全般	分野別の都市づくりの方針について、都市の将来像や都市計画の目標からどのように分野別の方針に考えが反映されているかが分かりにくい。土地利用や交通体系など五つの分野別に分かれているが、新型コロナウイルス危機を踏まえた内容など、改定の中に組み込まなければならない基本的な考え方が、分野別の方針の中に隠れてしまっている。	国の示す都市計画運用指針において、全体構想において明らかにすることが望ましいとされている分野別に都市づくりの方針を示しています。意見1において対応するフロー図内及び分野別の都市づくりの冒頭部にその内容を記載します。	-	意見2同様 P49 3.4 分野別の都市づくりの方針 <u>都市の将来像の実現と将来都市構造の構築に向け、都市計画運用指針（国土交通省）で示されている分野別に、都市計画制度の活用などを推進するための都市づくりの方針を定めます。</u>
13		分野別に分けることは理解しているが、目標と分野別の関係について、どの目標が五つの分野別の方針とどう関係するかを記載してはどうか。			
14	第3章全体構想 3.4 分野別の都市づくりの方針 2) 交通体系の整備の方針	資料3－1のP55の交通体系の整備の方針の道路に係る内容のうち、①広域な道路の整備に関して、「概ね10年以内に整備などに取り組む主な道路」とあるが、記載されている路線は、現在全てが整備中のものであり、P56②の地域内道路とのバランスも考えながら表現を再考したほうがよい。	ご意見を踏まえた修正を行います。	P55,56 3.4 2) 交通体系の整備の方針 (1)道路の整備と維持管理中①及び② ■概ね10年以内に整備などに取り組む主な道路	P55,56 3.4 2) 交通体系の整備の方針 (1)道路の整備と維持管理中①及び② ■概ね10年以内に整備（ <u>継続中を含む</u> ）に取り組む主な道路

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
15	第3章全体構想 3.4 分野別の都市 づくりの方針 2) 交通体系の整備の方針	交通体系の整備の方針の公共交通に係る内容のうち、P59の②安心・快適に利用できる公共交通環境の整備に記述のある「パーク＆ライド」の取組について、これまで取り組んできたものではあるが、本日の会議内容のポストコロナ時代における働き方の変化などを踏まえると、今後進めていくのがよいのだろうかと感じた。	今後、人の移動に関して変化が生じてくる中で、当面は環境負荷の低減を含め、取り組んでいくものと考えますが、ご意見のとおり、今後の状況の変化に応じて必要性を判断しながら取組の検討を行うため、記述の修正を行います。	P59 3.4 2) 交通体系の整備の方針 (2)公共交通網の形成 交通渋滞の緩和と環境負荷の低減に向け、パーク＆ライドの環境整備に取り組みます。	P59 3.4 2) 交通体系の整備の方針 (2)公共交通網の形成 <u>交通渋滞の緩和や公共交通の利用促進、また、環境負荷の低減に向け、パーク＆ライドなどの取組を検討します。</u>
16	第3章全体構想 3.4 分野別の都市 づくりの方針 2) 交通体系の整備の方針	道路の内容のうち、P56の③既存ストックの多目的利用に関して、第二音戸大橋などのインフラソーリズムについては、今後取組を進める際には、橋りょうの管理者として調整いただくようお願いしたい。	取組の実施に当たっては関係者と連携を図りながら進めて参ります。	-	-
17	第3章全体構想 3.4 分野別の都市 づくりの方針 5) 都市環境の保全・形成の方針	P70の都市環境の保全・形成のグリーン社会の形成に係る内容のうち、①グリーンインフラによる都市基盤整備の推進に関して、「多自然型川づくり」は、現在は「多自然川づくり」となっているので修正した方が良い。	ご意見を踏まえた修正を行います。	P70 3.4 5)都市環境の保全形成の方針 (1)次世代に向けたグリーン社会の形成① ・・・多自然型川づくりなどに取り組み、・・・	P70 3.4 5)都市環境の保全形成の方針 (1)次世代に向けたグリーン社会の形成① ・・・ <u>多自然川づくり</u> などに取り組み、・・・
18	第3章全体構想 3.4 分野別の都市 づくりの方針 5) 都市環境の保全・形成の方針	呉市は近年、映画のロケ地や「艦これ」に関するイベントの開催などによって、県外からも多くの人が訪れている。そのような方々が呉に到着したときに、こういったところで呉らしさを感じているだろうかと考えたとき、個人的にはレンガや海であると思う。今後、新たな道路整備などを行う際には、色彩やデザイン、素材など呉らしさを意識して整備されていくことは大切であると思	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-
19	第3章全体構想 3.4 分野別の都市 づくりの方針 5) 都市環境の保全・形成の方針	協働による景観の保全について、呉市には、灰ヶ峰や休山の遊歩道を整備されている団体や自然観察会を開催されている団体、子どもの遊び場をつくっている団体など様々な分野のボランティア団体が活動しているので、そういった団体と連携をしていくとよいと思う。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
20	第4章地域別構想	アンケート調査結果によると、呉市で策定した計画の認知について、知らない人が9割以上と高く驚いた。呉市には28のまちづくり委員会・協議会という自治組織があり、それぞれで地域まちづくり計画を策定されている。18地域の地域別構想を作成される中でそれぞれの計画が摺り合わせされるよう、互いの計画を提供できるような方法をとるなどすれば、都市計画マスタープランの認知度も高くなるのではないかと思う。	地域別構想の策定過程で実施する18地域の説明会においてご意見を反映していきたいと考えます。	-	-
21	第4章地域別構想	28地区のまちづくり協議会・委員会の話があったが、地域別構想についても18地域に拘らず、28の地域単位を推奨する。	地域別構想の地域の設定に当たっては、国土交通省が示す都市計画運用指針において、地形的地形等の自然的条件や土地利用の状況、幹線道路などの交通軸、日常生活上の交流の範囲、区域区分などを考慮して設定することが望ましいとされており、これを踏まえ、18地域で策定を進めたいと考えます。なお、28のまちづくり計画との情報共有を図るなど、連携を図ることとします。	-	-
22	全般事項	マスタープランの内容においても、人口減少が根底の課題となっていると思うが、計画内で人口減少に対する策についてどのように捉えているかが気になるところである。	都市計画制度の活用のみならず、産業振興策などとの連携を前提として、人口減少社会への対応として都市づくりとして取り組むべき方向性として「コンパクト＋ネットワーク」を基本とした都市構造の構築と安全性の確保を基本としながら、若者がやりがいをもって働く場の確保、また、ポストコロナ時代の新しい暮らし方や働き方に対応していくことを示しています。	-	-
23	全般事項	以前の会議でも意見を出したように、広島市で働き、呉市で暮らしていただくといった広島市のベッタウンとしてのあり方も意識しながら都市づくりを進めてほしい。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-
24	全般事項	都市づくりの理念や全体構想の内容について異議はない。持続可能で、活力があふれ、居心地が良く魅力的で、安全な都市になってほしいと誰もが願うことである。20年後の将来を展望し、10年で取り組んでいく計画であるが、この先、ここにいらっしゃるどれだけの方々がこの計画に関われるか、事務局においては、忘れ去られることのないように少しずつ実現していただきたい。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
25	全般事項	呉市に人が土着していくためにはものづくりなどの生業が必要である。事業が存続し、振興していくには、今日、明日とはいかず、時間を要するものである。そういったことから20年後のあるべき姿は、大変興味深いが、計画が完成したから、その計画の考えを変えないということではなく、柔軟性をもって、時代に合わせて発展的に、継続的に取り組んでほしい。それが、呉市への企業の土着に繋がり、やりがいのある仕事の創出につながると思う。企業があってこそ、住民が幸せな環境ができるものと思うので、それを意識して取り組んで欲しい。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-
26	全般事項	アンケート調査の結果をみると、豊かな自然や豊富な農水産物の評価が高くなっており、先ほど意見のあった多様性のある産業、また、情緒性というところは、農林水産業で担う部分もあると思う。これから検討を進める地域別構想においても、農林水産業との連携に関して引き続き対応をお願いしたい。	今後の地域別構想の参考とさせていただきます。	-	-
27	全般事項	農林水産業の強みとして観光・情緒的なこともあるが、ロシア・ウクライナに関する国際状況下において、食料の安全保障の議論が始まっており、今後、農林水産業の本来の生産性そのものがクローズアップされてくると考えている。そういったところは今後、地域においても必要になるものであると考えている。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	-	-
28	全般事項	第1回で発言した意見を踏まえ、素案を作成しており内容については意見はない。	-	-	-
29	全般事項	先般、「艦これ」のイベントが呉市であり、盛り上がっていた。舞台となる鎮守府は呉のほかに横須賀・舞鶴・佐世保と全国に4つしかないもの。「艦これ」には熱狂的なファンの方々が多くいると聞いており、そういったファンの方々を取り込みながら、呉市ならではの資源をまちづくりにどんどん活用していったほしい。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-

番号	関連する内容	頂いた意見等 (概要)	意見に対する対応	素案への反映	
				修正前	修正後
30	全般事項	子育て支援施設で伺った話であるが、呉市には自衛隊の隊員の方が多く住んでおられて、他県から来られる方も多いようである。その奥さんが知り合いのいない環境で子育てをしていくときに、呉市には無料で使用できる子育て支援施設があり、子育ての相談や同じような世代の人との交流ができることから非常に喜んでいると聞いた。こういった施設は今後も是非呉市に残して、呉市に知り合いのいない人が移り住んできても子育てしやすいまちであってほしいと思う。そういったまちが若い人たちから選ばれるのではないかと思う。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-
31	全般事項	兵庫県から来られた先生から、呉市は造船業のイメージがとても強いまちであると伺った。そういった造船の技術や歴史、風景があり、それらは今後も呉市の財産として継承していけるまちづくりができるといいと思う。	今後の都市づくりの参考とさせていただきます。	-	-